

第7回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（北部）

日 時	平成26年1月19日（日）午後3時30分～午後5時30分
場 所	北部公民館
参加人数	住民参加者：36人 議員15人 事務局1人
地元協力団体	須賀川区会
議員役割分担表	<p>総括責任者 小林 克彦</p> <p>司会進行 布施谷裕泉</p> <p>常任委員会報告者</p> <p>総務常任委員会 田中 篤</p> <p>社会文教常任委員会 西 宗亮</p> <p>観光経済常任委員会 山本 良一</p> <p>広報常任委員会 高田 佳久</p> <p>議会活性化研究会 西 宗亮</p> <p>記 録 者 徳竹 栄子</p> <p>出席議員 児玉 信治・小根澤 弘・望月 貞明・西 宗亮・田中 篤・布施谷裕泉・高田 佳久・山本 良一・黒岩 浩一・徳竹 栄子・湯本 市蔵・小淵 茂昭 山本一二三・小林 克彦・渡辺 正男</p>
次第（担当者）	<p>1. 開 会 司会者 布施谷裕泉</p> <p>2. あいさつ</p> <p>(1)主催者 町議会議長 児玉 信治</p> <p>(2)共催者代表 須賀川区長 外山 俊</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1)議会常任委員会等報告</p> <p>①総務常任委員会 田中 篤</p> <p>②社会文教常任委員会 西 宗亮</p> <p>③観光経済常任委員会 山本 良一</p> <p>④広報常任委員会 高田 佳久</p> <p>⑤議会活性化研究会 西 宗亮</p> <p>(2)質 疑</p> <p>4. 懇談事項</p> <p>テーマ「公共施設の整備」</p> <p>5. 閉 会 司会者 布施谷裕泉</p>
報告事項の質疑	※ 報告事項の質疑とテーマ等の懇談について、一括意見を求めた。
懇談会意見	<p>質問：活性化の為の提言、現状の説明特に（CATV）について</p> <p>回答：北信ケーブルは全町的ではなく一部である。予算的に難しい。</p> <p>質問：反問権の活用を、町長はされたか。</p> <p>回答：町長・教育長、共に1回程度活用したことがある。</p>

質問：消防団の課題について

回答：定数が満たされない。消防団の組織改革を進めている最中である。団員の負担を軽くしながら団員が入りやすいシステムをつくっていく。

質問：自然エネルギーの取り組みについて実施状況は。

回答：雪室の活用の実施。電気自動車のスタンドを道の駅に設置する予定である。

質問：落合の三組堰での水力発電の取り組みは。

回答：須賀川区長より説明、4月より須賀川が取り組む。

質問：社会体育館を見ると山ノ内にあった風土設計計画をしていない。そうでないから早くいたんでしまったのではいか。

回答：今後、新築する場合は、設計に対し山ノ内の風土にあった設計をしていくことを提言していく。

質問：人口増をしなければ山ノ内の発展は無いと考えるがどの様に考えているか。

回答：2040年では人口半減してしまう状況である。(7,000人~8,000人)町としては、婚活、町婚を計画して実施しているが成果が上がっていない。子育て支援をもっと充実するために予算を多くしていくよう町に提言していく。

北信6市町村が中心で婚活イベントをしたが山ノ内の男女参加者にはカップル誕生にならなかった。

申し込み参加者は多かったが、なかなか難しい状況である。

区長よりの要望：

コーディネートするような人が欲しい。

質問：小学校統合については、アンケート結果のとおりにして欲しい。町の考えている方向で対応して欲しいと思っているがどうなるか。

回答：教育委員会からは、まだ議会に何も回答が無い。今後、子ども達のためにより良い教育環境を考え議会として真剣に考えていく。

質問：北部公民館は平成27年に耐震調査するというが、大切なコミュニティの場であり、長寿を祝う会などで約250人も多くの方が来る。避難場所にもなっているので早く耐震をして欲しい。

また、雪が降ると駐車場が狭くなってしまうので何とか出来ないか。

回答：北部の避難場所でもあるので、北部公民館の耐震を大至急すべきと考えている。町全体の避難場所についても、現在検討見直ししているところである。

北部公民館の雪の排雪問題について、隣接の駐車場とともに検討していく。

質問：この冬の時期にどうして懇談会をするのか、もっと時期を考えたらどうか。

回答：貴重な意見であり反省会を行うので検討していく。

質問：各地区で7回も開いている、町民の声をどう活かし、実施しているものがあるのか。

回答：河川、河床整備が早期に実施された。

夜間瀬駅トイレ改修についての意見が平成24年に出たが、実施された。

質問：現在約7,500万円の噴水計画については、どうなっているのか。

回答：平成28年の3ヵ年計画にのっている。先送りしている状況。

質問：山ノ内や、特に須賀川に、核になるようなものをつくって欲しい。

回答：須賀川地区の核になるものと言っても、今新設の核としての大きな施設は難しい。

金沢のように歴史、伝統を現在に生かして行くべきである。今あるものを売っていくことが大事であるとする。そばを生かす、地域の方々の知恵、人が重要である。災害時に必要な施設は考えられる。

質問：若い方の職が無いために近隣市町村へ移転してしまう状況の中、現在住んでいる50代の方々のよりどころ、楽しく皆で何かしていくことや、寄り合う場所が欲しいといつも考えている。若者が少なくなることが特に困る。

優先順位としては人口増加対策を取ってほしい。今回のテーマよりもっと重要ではないか。議会としてもっと真剣に言って欲しい。

回答：さらに議会として、人口増加対策について今後考えていく重要性を考えるとともに、住みやすい町にしていくことが議員としてすべきと考える。